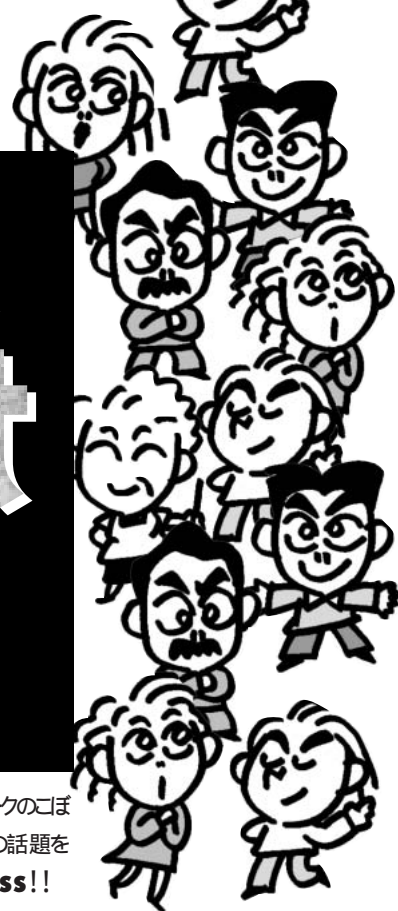


We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People



このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの方の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!

今月の高座



兵庫県立川西明峰高等学校では、情報教育の道具の1つとして、インターネットなどのネットワークの活用を9月から取り入れています。姉妹都市との電子メールでの交流を始め、生徒の創作の場としてのホームページの活用にもチャレンジしています。週に2時間だけの授業ですので、ホームページの製作は非常にのんびりしたのですが、毎週データの更新は行う予定です。外国人講師の協力で英語版も並行して製作しています。本校は、文部省、通産省の100校プロジェクトの選にもれ、独自にプロバイダーと

ダイヤルアップP接続を契約しての取り組みです。ですから、1台の端末（マッキントッシュLC630）で運営しています。生徒はいまだにフロッピーディスクで起動させる、PC9801DAでHTMLを書いています。こんな授業ですが、皆さん、応援よろしくお願いします。URL

<http://www2.gol.com/users/meiho/>

（兵庫県立川西明峰高等学校・情報処理担当教諭・植松啓さん）



本校は、兵庫県川西市南部に位置し高台の環境抜群の中で、生徒は「自主・想像・礼節・友愛」の校訓のもとにのびのびと学習しています。本年、創立20周年を迎えて、また心新たに地域社会の期待に応えるべく努力しています。

（ついでに河合邦光校長からも一言いただきました）



ホームページ見ましたよ。かっこいいじゃないですか。校長先生の笑顔もいいですね。学校の歴史を読んでびっくりしたのはなんとヤクルトスワローズの古田捕手の母校だったんですね。古田さん、甲子園行ってないんだなあ。兵庫は激戦区だもの。いやあ、インターネットとは関係ないことで驚いてしまいました。生徒の皆さんによろしく。



編集部

Chatting!

声を聞かせて

インターネットマガジンは、なぜかプロバイダーのアクセスポイントの日本地図のところが大分県の拡大図を載せてくれるから好きです。全国的に、とくに大分だけがクローズアップされることは珍しいんです。これはきっと東京の人にはわかんない喜び(?)でしょう。大分県人より。



(安部 仁)

世間一般ではどうもインターネットという、すなわちWWWという認識があるようですが、インターネットの世界を幅広く取りあげる貴誌にふさわしく、楽しいニュースグループを紹介させてください。私のお勧めニュースグループは、sci.lang.japanです。名前からも想像がつくとおり、日本語に関するニュースです。もちろんsci.と付く以上は英語。日本語に関するさまざまな質問が飛び交うこのニュースで一番興味深いのは、質問するのもそれに答えているのもどちらも非ネイティブ、すなわち

「ガイジンさん」である点です。たとえば
Q: 「俺んち」という場合の「ん」とはどのような意味を表しているのか?

A: それは「俺の家」と言った場合の「の」と同じと考えればよい。

などといった記事が英語で、しかも日本人以外の投稿者によって乱舞するわけです。もちろん、この類の話題のほかにも日本に関するjob offerのお知らせや、MacのJLKの入手・使用方法について、日本語ワープロの話題 (For sale やら使い方やら。どうもキャノワードが人気ようです) など盛りだくさん。ひとしきり笑った後で日本人よりも日本語に詳しい「ガイジンさん」の存在に凍ってしまいます。



(角田聡生)

11月号から始まった「ダイヤルアップIP接続ポイント別話中程度調査」は、うれしくもあり、とてつもなく悲しくもあった。私はNTTのテレホーダイを見越して(この

サービスでは月額固定料金制のところは極端に占領される!) 回線数の多そうな「IBM (大阪)」を選択したつもりが、これを見るとけっこう悪い部類に入っている。悲しいけど、ためになるこの調査は今後もずっと続けてほしい。この記事を参考に、プロバイダーも回線数を調整していくと思う。ちなみに、IBM (大阪) の23時以降の話中率は、体感的には、もっと高いように思う。



(北野明)

インターネットと出逢ってから10年を越えた。当時からNetNewsも読み書きしていた。今年の3月、2度目の転職をしたが、その会社では、電子メールしか外部との接触がなかった。やりきれない思いの抵抗が効を奏したのか、現在ではNetNewsはあるか、WWWまでもアクセスできるようになった。閉じこめられた牢獄から脱走できた思いだ。



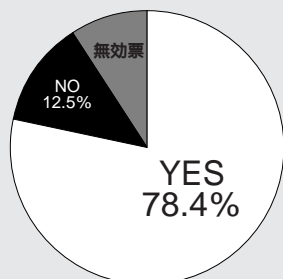
(まるす)

Thinking!

インターネットマガジン世論調査

テーマ
宗教法人法は改正すべきだと思いますか? <中間報告>

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



10月13日現在

インターネットマガジンでは、さまざまな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、WWWサーバー上で世論調査を実施中。政治・教育・風俗など、その都度ホットなテーマを設定して、皆さんのアクセスを待っています。お答えいただいた方全員に20iPを進呈します。

次のテーマ NTTは分割すべきか?

We Love Internet Peopleの
宛先電子メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、何でもいいので送ってください。

インターネットポイント (P247) 発行中。

女性のための電子メディア作りを目指す WOMーウィメンズ・オンライン・メディアー



慶應義塾大学の金子郁容教授による研究プロジェクトに「VCOM」という情報コミュニティ作りの実験がある。WOMはそのケースプロジェクトとして位置づけられている。VCOMのプロジェクトはほかに震災情報ネットワークやNGO（非営利団体組織）の支援ネットワークなどがあり、そのベースとなる場はインターネット、およびBBSを縦断してボランティアの輪を広げているインターVネットだ。

吉村 パソコン通信だと1つのネットの中で終わってしまうけど、VCOMはいろんなネットを通すことによって、新しい情報コミュニティを作れるのではないかという予感をもっている。その1つのパイロットモデルであるWOMのテーマは「女性」。男性社会である日本で、女性の立場・位置づけをできるだけフラットにしていきたい。そのために、これまでいろいろグループの人たちがミニコミ誌を発行したり、マスコミに向けて広報したりしていたけど、私たちは手近にあるインターネットを道具にそういう活動をしている。私がもともとVCOMのスタッフだったので、電話で呼びかけてメンバーを集めた。

コンピュータネットワークに占める女性の割合はとても低いはず。それでもいいのだろうか。

吉村 これまで何らかの形でWOMにコンタクトをとった人はトータルで40人ぐらい。ネットワーク人口の1割しか女性がないといっても、関心をもつ分野に足を運ぶアクティブさをもっている人はかなりいると思う。実際にパソコン通信でもアクティブな女性は多いでしょう。そんな、何かやりたい人にインターネットを与えれば、とてもよく使う。とにかく技術的な壁を1度超えると応用範囲が広い。まず、私たちは、電子メールを使ったらWOMに参加できるということアピールしている。FAXとか、手紙で情報をずっと送ってくださいといわれても、妥協しないで、できるだけ電子メールを使ってくださいという。恒常的には電子メールしかないと思っている。

藤井 女性とパソコンというと、まだかけ離れたもののように思われているけど、もっと自分たちのセンスで活用していけるものだということを、WOMを見て感じてもらいたい。私はパソコン通信は基本だと思っているけど、インターネットはまだ全く

今年5月に発足したWOM（ワム）は、女性をテーマにホームページ、メーリングリスト、ニュースグループを運用し、女性がインターネットに参加するための支援活動を行っている。毎月2回、事務局がある東京・中野区の末廣ハウスでインターネットのセミナーが開かれる。その模様を見学しつつ、吉村さん、永野さん、藤井さんの話を聞いた。

普及していないと思う。ワープロでパソコン通信に参加している人はとても多いから、そういう人たちを引き込みたい。まずは、電子社会の中にメールアドレスをもつことが必要。

この日は14人が集まり、WOMで今後何をとりあげていったらいいかについて話し合われた。障害児をもつ働く母親のための情報を交換している人、単身者のネットワークに興味をもつ人、痴漢やいやがらせを受けているという事実を他人に話すと自意識過剰だと言われ、もっと安全に話せる場がほしいと話す人、海外の女性問題を知りたいという人、彼女たちのテーマは多様だ。

吉村 女性と一口にいってもいろんなテーマがある。いま、開いているのは、仕事と子育ての両立などをテーマにしたキッズ（子供）セクシャリティ、そしてレイバー（労働）という3つの分科会。たとえばレイバーでは女性にとって何かあったときのかけ込み寺を紹介したり、不当解雇された人にインタビューしようという計画があったり。手を広げればきりがなくらい。

藤井 私が問題として扱いたいのはたとえばレズビアン権利など、セクシャリティについて。とくにマスメディアには載らないような、マイノリティの声を載せていくことも必要だと思う。インターネットはオルタナティブなメディアだから。

吉村 インターネットのいいところは取るうと思えば誰でもとれるところに情報を置けること。これまではアクセスが制限されているところがあったり、マスコミもタイピングをはずすと取れない情報が多かった。でも、インターネット上に置いておくと、ほしい人はがんばってとる。

永野 私たちの声を海外に届けるのは難しかったけど、ホームページに入れておけば、自然に見てくれる。この半年で40か国、知らないような国からもアクセスがあって、それはとても励みになった。

藤井 海外の人は日本の本当の女性の雇用問題なんて知らない。男女雇用機会均等法がザル法だったことなんて知らないから、海外の人に知ってもらって外圧かけてもらえたらなあ(笑)。それに、一方的に、日本の女性はこうだと決めつけてる。そうではないということ、また、政治レベルで出てくる話とも違うということを伝えたい。

吉村 彼女たちはみんな個々にやりたいことがあるから、それをサポートしてあげたい。ただ、特定の個人として何かを発言するのはあまりにもリスクなことだから、みんなのいろいろな意見をWOMで一旦吸収して、そのうえでメディアに載せていこうと思う。必要以上に露出させることはその人にとってマイナスになることがある。

藤井 WOMはあくまでもサポート部隊。電話がないところに電話を引いてやるみたいな役割(笑)。ネットワークはどこが安いかと聞かれて答えてあげたりね。

☎ 話はシビアな面もあるが、見た目は20代から30代の、ごく普通の女性たち。強気な女性運動家のイメージの人はいない。吉村 これまでのアクティビストは「私は

こう思う、こうしたい」とガンガン主張するばかりだったから、フェミニストは強い人たちだと誤解されている。WOMは普通の人たちの声を拾っていきいたいし、併せて他の女性問題に取り組むグループの情報も掲載していきたい。でも、以前はコンピュータネットワークの話をして、全然理解されなかった。多くのグループが会報とか雑誌とかを出したり、情報を買ったりして活動を維持しているけど、私たちが無料でインターネットで情報を提供するというと、とても警戒する。これからは出すところは出す、売るところは売ると分けてほしい。全部の情報を売るといのは、これからは成り立たないんじゃないかな。

☎ 北京で開催された世界女性会議で、吉村さんと田口やよいさんは現地から情報を電子メールで送り、その情報はホームページに掲載された。藤井さんはその模様を日本のデモンストレーション会場で紹介した。そのデモを見て興味をもったという女性がこの日ミーティングに訪れていた。インターネットはこれからだという。

吉村 北京で得たものはいろいろあった。ひとつはAPCの20か国の人と仕事ができ

たこと、そして、日本でふだん話す機会がなかったり、すれ違ったりしている地方の運動家の人たちが、北京でWOMに関心を示してくれたこと。1年前はコンピュータネットワークに興味をもてなかった人たちが、わざわざ北京まで行って普及活動をやったことで、ようやく理解を示しはじめてくれた。そして、もうひとつは、コンピュータネットワークが社会的な活動の場になりえると評価してもらったこと。日本ではインターネットがブームだけど、現実的に必要なものだと思われていないと思う。WOMは、ネットワークそのもののために活動をしているのではなく、文化とか、社会とか、一般的なフィールドの中にネットワークを持ち込んでいる。そのひとつのケースとして、今個人的にやりたいことは、国際会議を開くこと。たとえば「女性と技術」「女性とメディア」というようなテーマで、海外からゲストを呼び、会議を開く。そして、日本での交流のようや会議のプロセスをインターネットで放送する。コンピュータネットワークでこそ実現しやすい、コンピュータネットワークだからできる社会的な活動の形、その1つの事例を示すことができたらしいと考えている。

本誌連載コラム「市民の声とインターネット」でおなじみ吉村順子さん。WOMの事務、雑誌原稿、講演で忙しい毎日。VCOM運営委員。



永野美奈子さん。日本サンマイクロシステムズ勤務。「女性と技術」というテーマに興味がある。ホームページの制作、UNIXでの開発を担当。



藤井聖子さん。日本テキサスインスツルメンツ勤務。二フティサープ生涯学習フォーラムの「フェミニストフォーラム」スタッフ。

URL <http://www.suehiro.nakano.tokyo.jp/WOM/>
このほかに5名の運営スタッフがいます。毎月第1第2土曜日は末廣ハウスでインターネットのセミナーを開催。参加費は1回500円。WOMへの問い合わせは電子メールがFAXで。
電子メールsteer@wom.suehiro.nakano.tokyo.jp
案内メール自動返送wom-info@suehiro.nakano.tokyo.jp
FAX03-5384-8587

NetSerfing!

読者が作るイエローページ



This is the Place of General Happiness

日記リンクス

URL <http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/tsuda/links/nikki/>

豊橋技科大の津田さんが日記リンクスというページを作っています。50名程度の方々の日記ページにそれぞれリンクされ、そのランキングもあります。いろんな人の生活や考え方が読めるし、日記だけに日々更新されていて(されていないページも多いけど)、何回もアクセスしてしまう。誰の日記を読むか迷ったらルーレット形式で勝手に選んでくれるというスク립トまであります。そのうえ、僕の日記まで読めてしまうという、ちょっと恥ずかしいですけど。



(杉山貴啓)

ご近所さんを探せ!

URL <http://www.isr.recruit.co.jp/yamamoto/map-j-s.html>

「近くでインターネットに触れている人は?」「昔の知り合いにメール出したいけど?」そんなときに役立ってくれる可能性を秘めたページです。ただ、まだ人数的には不足感があり、私が初めてアクセスしたときの情報では、開設1か月、9月14日午前9時現在で、現住所登録者269人、出身地登録者171人、スポット数50人の登録数でした。まだ、登録0の市が多いようですので登録してください。

(Makoto Morikawa)



最近のWWW情報はみんな気合いが入っていて選考に困ってしまう。なんと驚沢な悩みを抱えることになった編集部である。載らなくてもiPはジャンジャン発行しているからあきらめずに投稿を続けてほしい。いつかネットサーファー大賞を贈りたい。



World Population

アジア音楽の宝庫CINEPOLY RECORDS

URL <http://zero.com.hk/cinepoly/>

香港や台湾で絶大な人気を誇り、日本でも何枚もCDが発売されているフェイウォン(王菲)が在籍している香港のレコード会社Cinepolyのページです。新譜紹介、歌手のプロフィール、テレビラジオへの出演スケジュールなどがあり、QuickTimeムービーで試聴もできます。ただし静止画。スケジュールがわかって日本では見られないから悲しい。文は中国語(広東話)で書かれていますが、その部分もテキストではなく画像ファイルなので中国語が表示できないシステムでもだいじょうぶです。



(川崎伸悟)

This is the Place of General Happiness

URL <http://anansi.panix.com/sorabji/index.html>

このサーバーについて紹介文を書くことはできません。このページはコロコロと内容を変更しているからです。そして、変更するたびに、いつも新しい試み(文章が下からスクロールして出てきたり、ニコニコマークがアニメーションしたり)と過激なジョークで訪問者を楽しませてくれます。とにかく早くアクセスしてみてください。ただし、あなたのマシンの調子

によっては、フリーズする場合があるのでお気をつけて。



(やまぐちはじめ)

ただいまの世界人口は57億...

URL <http://sunsite.unc.edu/lunarbin/worldpop/>

どうやって調べてるのがわかりませんが(調べて教えてください)、このサイトにアクセスすれば本日の世界の人口がわかります。ちなみに、9月20日14:29:13 GMTには57億6401万9632人でした。このサイトにNetScape1.1Nでアクセスすると30秒ごとにリロードするようになっています。深夜にネットサーフィンしている間にも、刻々と誕生と死が人々に訪れています。このメールを書いている間にも、57億6402万0165人に増えていました。哲学的になるもよし、食糧問題に思いをはせるもよしのサイトです。



(Masashi FUJINAGA)

地球上で最大の動物鯨のホームページ

URL <http://tirpitz.ibg.uit.no/www/ssclick.html>

商業捕鯨を続けようというノルウェーの鯨に関するサイト。公平に、いろいろなレポート(グリーンピースのレポートなど)も掲載されている。FAQの「ノルウェーの捕鯨は法律違反か」の質問に「法律違反ではない、些細な法律違反もしていない」と強調した回答にノルウェーの思いを見るような気がする。WWW(Whale Watchin Web)の有名なサイト(<http://www.physics.helsinki.fi/whale/>)や鯨からの声のメッセージが聞けるサイト(<http://kingfish.ssp.nmfs.gov/songs.html>)と合わせてサーフィンすると鯨への愛着が倍増しますよ。



(Yasuhiro Ogino)

impress.co.jp

TOP 10

発表! インプレスWWWサーバー
スタッフのページ<ある日のアクセスランキング>

<http://home.impress.co.jp/staff/>に続けて入力してね。

1位 ken/aroundme/e951007.htm
山下賢治によるネットスूप2.0試用レポート。この日の速報で大人気。

2位 junko/index.htm
サーバーを担当する坂本純子のページは、ダイエット情報が豊富。

3位 saitou-a/index.htm
市場原理にかなった強さ。斎藤彰男のページは子供は見ちゃいけない。

4位 ichimura/index.html
あっちこっちにリンクを張っているらしい学生スタッフ・市村安海。

5位 junko/hello.htm
坂本純子のプロフィールが載っている。これも市場原理にかなっている。

6位 ichimura/jinz/rireki.html
大学4年の市村はまだ就職が決まらず、ここに履歴書を載せて就職活動中。

7位 ken/index.htm
ネットスケープ2.0レポートからこのページに戻る。ほかの情報も見てね。

8位 masai/index.htm
小誌編集長による業界一言ニュース。インターネット・ツウならチェックすべし。

9位 nakajima/index.htm
日本で初めてリアルオーディオに対応、一時人気を博した副編集長・中島のページ。

10位 marie/index.htm
連載でもおなじみ西森マリーさんの英語が聞けるこのページの人気は根強い。

これはネットスケープ2.0が登録された翌日の10月8日(日曜日)1日分のアクセスを、ページごとに集計した結果です。ほかのスタッフのコーナーも、皆さんのご愛顧をお願いします。

<11月3~12日インターネット体験イベント>
大阪なんばCITYで
「CITY Digital JAM」開催

大阪市のなんばCITYシティホールでは、「サイバースペースの住人たちへ」というキヤッチフレーズで、インターネットとマルチ



メディアを取り上げた「CITY Digital JAM」を開催する。インターネットカフェの開設やデジタルアートのアーティストによるデモンストレーション、初日は伊藤譲一氏を招いてのオープニングスピーチなどが予定されている。入場料は無料。

場所：なんばCITY南館地下1階シティホール
日時：11月3日~12日午前11時から午後8時
(最終日は午後7時まで)
問い合わせ：なんばCITYインフォメーション
TEL.06-644-2960

```
///
(@@)
/HHH--V
J L
```

Masaki Taniguchi

```
P { | | | |
  ( ^ _ ^ )
```

安部 仁

```
/ | _ _ / |
| @ @ |
( ' v ' )
U
```

神田全理

```
≡^o^≡ yoko kifuji ≡.-.≡
```

```
" " " "
[-0-0-]
( ^ )
```

宮野 浩

```
A--A
=(. .)=
m \ (
 |_/m(_)_)
```

小寺 誠

```
- ^ ^ ^ ^ \
/ \ \ ( )
\ \ < \ _ > つ
```

白井 隆

```
(~)(~)
( . )
¥
( ) ~ ~
```

鈴木永夫

秘宝発見!
シグネチャーで飼う
アニマル

(^_^)や(-;)は「笑」。文字だけでメッセージを交わすネットワークで喜怒哀楽を表すために使われる絵文字だ。そしてそんなテキストだけで作られた絵を「アスキーアート」と呼ぶ。ここではシグネチャーの中にある作品を集めた。自画像はわかるけど、猫が多いのはなぜだろう。

募集中

あなたがインターネットで見つけた面白いシグネチャー、ボエム、暗号メッセージ、名言、アスキーアート、変なドメイン、何でもいから送ってほしい。自薦・他薦どちらも歓迎！掲載分には1000iP送るぞ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp